

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : CAROAT®

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : United Initiators (Shanghai) Co., Ltd

住所 : Room 501, Bldg. 1, No. 1 Shangda Road
Shanghai, China, 200444

電話番号 : +86 21 61172758

電子メールアドレス : cs-initiators.cn@united-in.com

緊急連絡電話番号 : +86 21 61172758

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 酸化剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

急性毒性 (経口) : 区分 4

皮膚腐食性/刺激性 : 細区分 1B

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 1

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 2

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 3

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H302 飲み込むと有害。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H401 水生生物に毒性。
H412 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き : **安全対策:**
P260 粉じんを吸入しないこと。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:
P301 + P312 + P330 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
P301 + P330 + P331 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
P304 + P340 + P310 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338 + P310 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管:
P405 施錠して保管すること。

廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 結晶性

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

固体

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩)	70693-62-8	< 100	1-456 / 1-454
ニカリウム二硫酸	7727-21-1	< 3	1-456, 1-456

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
直ちに医師を呼ぶ。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
危険域から避難させる。
この安全データシートを担当医に見せる。
被災者を一人にしない。
中毒の症状は数時間後に現れる。
- 吸入した場合 : 呼吸が困難な場合あるいはチアノーゼが認められた場合には、酸素吸入を行う。
吸い込んだ場合、新鮮な空気のある場所に移す。
呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。
エアゾールを吸い込むと気道に腐食性を示す可能性があります。
意識がない場合は、回復体勢にし、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 症状が持続する場合は、医師に連絡する。
皮膚腐食による傷は直ちに治療処置を行ってください。時間が経つと治癒が遅れて回復が難しくなります。
接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間皮膚を洗い流しながら、汚染した衣服と靴を脱ぐ。
汚染された衣服は再使用前に洗濯すること。
皮膚に付着した場合は、水で十分にすすぐこと。
衣服に付いた場合、衣服を脱ぐ。
- 眼に入った場合 : 少量が目にはねて入った場合、取り返しの付かない組織破壊と失明を引き起こす可能性がある。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗浄し、医師の手当てを受ける。

病院に運ぶ間にも、眼を洗浄し続けてください。

コンタクトレンズをはずす。

損傷していない眼を保護する。

洗浄中は眼を大きく開ける。

眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師を呼ぶ。
水で口をよくすすぐ。
気道を確保する。
無理に吐かせないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 飲み込むと有害。
重篤な眼の損傷。
重度の火傷を起こす。

応急措置をする者の保護 : 救急救命士は自己防衛に努め、推奨されている防護服を着用すること

医師に対する特別な注意事項 : 支持療法および対症療法を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 泡
ウォータージェットスプレー
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素 (CO₂)
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の危険有害性 : 火災時に危険な分解生成物が発生することがあります (第10章参照)。

火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。

特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
汚染した消火廃水は回収すること。排水施設に流してはならない。
火災の残留物や汚染した消火廃水は、関係法規に従って処理する。

棒状水による消火は、火災が激しくなったり飛び火したりするので、行ってはならない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 安全な取り扱いの助言や、個人保護具の推奨事項に従う。
保護具を使用する。
粉じんの発生を避ける。
粉じんを吸い込まないよう留意。
回収した物質は、廃棄上の注意 の項目に記載の方法で処理する。

環境に対する注意事項 : 製品を排水施設に流してはならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
製品が河川、湖水または排水管を汚染した場合は、関連当局に連絡する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 流出物は直ちに除去する。
床およびこの物質で汚染された物体の洗浄には大量の水を使用する。
不活性な吸収材で吸収させる。
本物質を放出および廃棄処理する際、および、その浄化に使用した資材や品目を廃棄する際には、地方自治体や国の規則が適用されることがある。どの規則が適用されるかを決定する必要がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

火災及び爆発の予防 : 粉じんの発生を避ける。
粉じんが発生する場所では、換気を適切に行う。

安全取扱注意事項 : 吸入性粉じんが発生しないように留意する。
飲み込まない。
蒸気/粉じんを吸い込まない。
皮膚や眼への接触を避けること。
作業室の換気や排気を十分に行う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
取り扱い後に徹底的に洗う。
個人保護については項目 8 を参照する。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

接触回避 : 促進剤、強酸と強塩基、重金属（塩）、還元剤
汚染（例えば錆、埃、灰）を避けること。腐食する危険がある。

非該当

衛生対策 : 皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
飲食物から遠ざける。
使用中は飲食しないこと。
使用中は禁煙。
休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 乾燥した場所に保管する。
ラベルの予防措置を遵守する。
各国の規定に従って保管する。
電気設備及び作業資材は技術安全基準に準拠していなければならない。
一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。

混触禁止物質 : 保管中は、製品と水との接触を絶対に避ける。

推奨された保管温度 : < 30 - C

保管安定性に関する詳しい情報 : For quality reasons

通常の保存状態では分解しない。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
ニカリウム二硫酸	7727-21-1	TWA	0.1 mg/m ³ (過硫酸塩)	ACGIH

設備対策 : 作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

版番号 4.2 改訂日: 2024/06/20 整理番号: 600000000017 前回改訂日: 2024/06/20 初回作成日: 2016/10/05

保護具

呼吸用保護具 : 粉じんおよびエアゾール形成の場合は、適合したフィルターの付いた呼吸装置を使用する。

フィルタータイプ : フィルタータイプP

手の保護具

材質 : ニトリルゴム

破過時間 : 480 min

手袋の厚さ : 0.40 mm

材質 : ブチルゴム

破過時間 : 480 min

手袋の厚さ : 0.47 mm

備考 : 素材の破過時間／強さに関するデータは規格値なので、実際の破過時間／強さは、防護手袋の製造者から入手しなければならない。危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。休憩前や終業時には手を洗う。

眼の保護具 : 作業場所の近辺に洗眼びんおよび安全シャワーを設けること。
特定の職場で保護措置を選定する際全ての適用される国内/地方自治体の要件に従ってください。
製品と眼が不慮に接触する可能性を払拭できない状況では常時ゴーグルを着用してください。
密着性の高い安全ゴーグル
適切なゴーグル、飛び散る危険がある場合は顔面保護具も付けること

皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
肌表面が露出しないように、実施されるタスクに基づき、体を覆うガーメントを追加して使用しましょう（例、スリーブレッツ、エプロン、長手袋、使い捨てスーツなど）。
必要に応じて着用：
難燃静電気保護服。

保護対策 : 特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 固体
色	: 白色
臭い	: 無臭
臭いのしきい(閾)値	: 不定
融点/ 範囲	: 分解: 融点未満の温度で分解する。
沸点/ 沸騰範囲	: 不定
可燃性 (固体、気体)	: 発火しない
爆発下限界及び爆発上限界/ 可燃限界	
爆発範囲の上限/ 可燃上限 値	: 爆発範囲の上限 データなし
爆発範囲の下限/ 可燃下限 値	: 爆発範囲の下限 データなし
引火点	: 非該当
自己発火性	: この物質または混合物は自然発火性としては分類されない。
pH	: 2.3 含有量: 10 g/m ³
蒸発速度	: データなし
かさ密度	: 約 1,100 kg/m ³
自然発火温度	: 不定
自己促進分解温度 (SADT)	: > 80 - C 方法: UN テスト H.4
粘度	
粘度 (粘性率)	: 非該当

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

動粘度（動粘性率）	: 非該当
溶解度	
水溶性	: 約 300 grm/l 可溶 (20 - C)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: 非該当
蒸気圧	: < 0.001 hPa (25 - C)
密度及び／又は相対密度 比重	: 不定
密度	: 約 2.35 gPcm3 (20 - C)
相対ガス密度	: 不定
爆発特性	: 非爆発性
酸化特性	: 燃焼作用はありません。
自己発熱性化学品	: この物質または混合物は自己発熱性としては分類されない。
粒子特性	
粒子サイズ	: 不定
粒度分布	: D10 = 89 μ m 分布タイプ: 堆積分布 測定技術: レーザ光回折

10. 安定性及び反応性

反応性	: 推奨保管条件下では安定。
化学的安定性	: 推奨保管条件下では安定。 通常の保存状態では分解しない。
危険有害反応可能性	: ほんの少しの湿気や汚染でも自己加速分解温度（SADT）が大幅に下がります。 湿気を避ける。
避けるべき条件	: コンタミを避ける。 防湿する。
混触危険物質	: 促進剤、強酸と強塩基、重金属（塩）、還元剤 汚染（例えば錆、埃、灰）を避けること。腐食する危険が

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

ある。

非該当

危険有害な分解生成物 : 火災や分解で刺激性、腐食性、引火性の健康を害する / 毒性のガスや蒸気が発生することがあります。

11. 有害性情報

急性毒性

飲み込むと有害。

製品:

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 500 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423
- 急性毒性（吸入） : LC0 (ラット): > 5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 専門家の判断
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 500 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 423
- 急性毒性（吸入） : LC0 (ラット): > 5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: 専門家の判断
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

ニカリウム二硫酸:

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

- 急性毒性（経口） : LD50 (ラット, オス): 742 mg/kg
 方法: OECD 試験ガイドライン 401
 アセスメント: 成分/混合物は単回経口摂取後若干有毒。
- 急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5.1 mg/l
 曝露時間: 4 h
 試験環境: 粉じん/ミスト
 方法: OECD 試験ガイドライン 403
 アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
 備考: 専門家の判断
- 急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
 アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。
 備考: 専門家の判断

皮膚腐食性／刺激性
 重度の火傷を起こす。

製品:

- 種 : ウサギ
 方法 : OECD 試験ガイドライン 404
 結果 : 火傷を起します。
- 備考 : 組織を極度に腐食し破壊する。

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

- 種 : ウサギ
 方法 : OECD 試験ガイドライン 404
 結果 : 火傷を起します。

ニカリウム二硫酸:

- 種 : ウサギ
 方法 : OECD 試験ガイドライン 404
 結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

重篤な眼の損傷。

製品:

- 種 : ウサギ
 結果 : 眼に重傷のおそれ。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

備考 : 眼に永久的な損傷が起こることがある。

成分:**五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):**

種 : ウサギ

結果 : 眼に重傷のおそれ。

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

ニカリウム二硫酸:

種 : ウサギ

結果 : 眼への刺激

方法 : OECD 試験ガイドライン 405

呼吸器感作性又は皮膚感作性**皮膚感作性**

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

暴露の主経路 : 皮膚接触

種 : モルモット

方法 : OECD 試験ガイドライン 406

結果 : 動物実験では感作性なし。

備考 : 吸入

: 専門家の判断

: 呼吸器を過敏化させない。

: 専門家の判断

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)

: マウス

: OECD 試験ガイドライン 442B

: 皮膚を過敏化させない。

GLP : 該当

備考 : この情報は混合物そのものの試験結果に基づいている。

アセスメント : 動物実験では感作性なし。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

成分:**五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):**

暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : モルモット
方法 : OECD 試験ガイドライン 406
結果 : 動物実験では感作性なし。

試験タイプ : 局所リンパ節増殖試験 (LLNA)
種 : マウス
方法 : OECD 試験ガイドライン 442B
結果 : 動物実験では感作性なし。

ニカリウム二硫酸:

暴露の主経路 : 皮膚接触
種 : モルモット
方法 : OECD 試験ガイドライン 406
結果 : 皮膚に触れると感作を起すことがある。

暴露の主経路 : 吸入(粉じん/ミスト/煙)
結果 : 吸入による感作発生の可能性。
備考 : 専門家の判断

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陽性

方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 陽性

方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験
種: マウス (オスおよびメス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 474
結果: 陰性

試験タイプ: 哺乳類 生体内アルカリコメットアッセイ
種: ラット (オス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 489

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 60000000017 初回作成日: 2016/10/05

結果: 陰性

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在
方法: OECD 試験ガイドライン 471
結果: 陰性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 476
結果: 不明確

試験タイプ: in vitro 染色体異常試験
方法: OECD 試験ガイドライン 473
結果: 陽性

試験タイプ: in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法: OECD 試験ガイドライン 490
結果: 陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: in vivo 小核試験
種: マウス (オスおよびメス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 474
結果: 陰性

試験タイプ: 哺乳類 生体内アルカリコメットアッセイ
種: ラット (オス)
投与経路: 経口
方法: OECD 試験ガイドライン 489
結果: 陰性

ニカリウム二硫酸:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: 微生物復帰突然変異試験 (AMES)
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 哺乳動物赤血球小核試験 (in vivo 細胞毒性試験)
種: マウス
投与経路: 腹腔内注射
結果: 陰性
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

備考 : この情報は利用できません。

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

備考 : この情報は利用できません。

ニカリウム二硫酸:

種 : マウス
投与経路 : 皮膚接触
曝露時間 : 52 週
方法 : OECD 試験ガイドライン 451
結果 : 陰性

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

ニカリウム二硫酸:

妊娠に対する影響 : 種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 421
結果: 陰性

胎児の発育への影響 : 種: ラット
投与経路: 飲み込んだ場合
方法: OECD 試験ガイドライン 421
結果: 陰性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

成分:**ニカリウム二硫酸:**

アセスメント : 呼吸器への刺激のおそれ。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

反復投与毒性**製品:**

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : > 1,000 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 28 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 407
備考 : 亜急性毒性

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : 600 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 90 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
備考 : 亜慢性毒性

成分:**五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):**

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : > 1,000 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 28 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 407
備考 : 亜急性毒性

種 : ラット, オスおよびメス
LOAEL : 600 mg/kg
投与経路 : 経口
曝露時間 : 90 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408
備考 : 亜慢性毒性

ニカリウム二硫酸:

種 : ラット
NOAEL : 1,000 mg/kg
LOAEL : 3,000 mg/kg

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 600000000017 初回作成日: 2016/10/05

投与経路 : 飲み込んだ場合
曝露時間 : 90 d
方法 : OECD 試験ガイドライン 408

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.5 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3.5 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 1 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度: 0.5 mg/l
曝露時間: 37 d

微生物に対する毒性 : EC50 (バクテリア): 100 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 試験ガイドライン 209

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

成分:

五カリウムピス(ペロキシモノサルフェート)ピス(硫酸塩):

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 53 mg/l
曝露時間: 96 h

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 3.5 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 1 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

最大無影響濃度 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)):
0.5 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に有害。

ニカリウム二硫酸:

魚毒性 : LC50 (Scophthalmus maximus (ターボット)): 107.6 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 120 mg/l
に対する毒性
曝露時間: 48 h
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Phaeodactylum): 320 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

最大無影響濃度 (Phaeodactylum): 32 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

微生物に対する毒性 : EC10 (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 36 mg/l
曝露時間: 18 h
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

残留性・分解性

製品:

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

成分:

五カリウムビス(ペロキシモノサルフェート)ビス(硫酸塩):

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

ニカリウム二硫酸:

生分解性 : 備考: 生分解性の判定方法は無機物質には適用されない。

生体蓄積性

成分:

ニカリウム二硫酸:

n-オクタノール／水分配係数 : 備考: 非該当
(log 値)

土壤中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 職業上の規則に反した取り扱い、処理が行われた場合は、環境に及ぼす危険性を除外して考えることはできない。
水生生物に毒性。
長期継続的影響によって水生生物に有害。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 認可された廃棄物処理施設で廃棄物を処理する。
本製品を排水溝、水路、地面に流さないこと。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。

汚染容器及び包装 : 地方自治体の規制に従い処分する。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

水で容器を洗浄する。
内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。
残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3260
国連輸送名 (Proper shipping name)	: CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N. O. S. (Potassium Monopersulfate)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: II
ラベル (Labels)	: 8
環境有害性	: 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	: UN 3260
国連輸送名 (Proper shipping name)	: Corrosive solid, acidic, inorganic, n. o. s. (Potassium Monopersulfate)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: II
ラベル (Labels)	: Corrosive
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft))	: 863
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft))	: 859

海上輸送 (IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	: UN 3260
国連輸送名 (Proper shipping name)	: CORROSIVE SOLID, ACIDIC, INORGANIC, N. O. S. (Potassium Monopersulfate)
国連分類 (Class)	: 8
容器等級 (Packing group)	: II
ラベル (Labels)	: 8
EmS コード (EmS Code)	: F-A, S-B
海洋汚染物質 (該当・非該当) (Marine pollutant)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2024/06/20
4.2 2024/06/20 60000000017 初回作成日: 2016/10/05

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 154

15. 適用法令**関連法規****消防法**

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法**製造等が禁止される有害物**

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
ペルオキシ二硫酸カリウム	>=1 - <5	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
-----	----

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

ペルオキシ二硫酸カリウム	-
--------------	---

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1: 腐食性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: 腐食性物質

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質には該当しない

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

この製品の成分について各国インベントリーへの記載情報:

TCSI (TW) : インベントリーに記載されている、または準拠している

TSCA (US) : 全ての成分が TSCA インベントリーに記載されている

AIIC (AU) : インベントリーに記載されている、または準拠している

DSL (CA) : 本製品中の成分は全てカナダ DSL リストに記載されている。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

ENCS (JP)	: インベントリに収録されている、または準拠している
ISHL (JP)	: インベントリに収録されている、または準拠している
KECI (KR)	: インベントリに収録されている、または準拠している
PICCS (PH)	: インベントリに収録されている、または準拠している
IECSC (CN)	: インベントリに収録されている、または準拠している
TECI (TH)	: インベントリに収録されている、または準拠している

16. その他の情報

詳細情報

その他の情報	: この安全データシートには、安全性に関する情報のみが掲載されているので、商品情報や商品仕様に代わるものではない。 これらの安全に関する指示は、製品が残留している可能性のある空容器にも適用される。 表に記載の危険有害性は容器の残留物にも適用される。
引用文献	: 内部技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、OECD eChem ポータルおよび欧州化学物質局 http://echa.europa.eu/ の検索結果
日付フォーマット	: 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH	: 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
ACGIH/TWA	: 8 時間、時間加重平均

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/06/20
4.2	2024/06/20	600000000017	初回作成日: 2016/10/05

がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TEGI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA